



志布志市の福祉・ボランティア情報紙

ささえあい

志布志市社会福祉協議会 検索

平成 24 年 1 月 26 日 発行

第 36 号

写真 鬼火焚き（新橋地区鬼火焚き実行委員会）



老えどなお

心青春

若返り

志布志町 内山 幸夫

老夫婦

「おい」「ないな」が
愛言葉

有明町 土橋 純香

老いて来て

嫁の気配り

ありがたい

志布志町 幸おばあちゃん

すぐ返す

明日返すで

そのまんま

志布志町 内山 幸夫

しゅとめの

かいご七条

がんばれよ

むすめささえる

おやごころ

志布志町 竹下 厚代

- ・ サロン運営ボランティアを募集します。(P.5)
- ・ 子育てサロンを開催しました！(P.7)
- ・ 介護者の寄り合いどころが出来ました！(P.7)



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

初春に想う



志布志市
社会福祉協議会
会長

竹井 道徳

新春を迎え、市民の皆様にご挨拶に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平素は、市社会福祉協議会に対し温かいご理解を賜り、ご支援、ご協力をいただいておりますことに對し役職員一同、心から厚くお礼申し上げます。

さて、わが国のおかれている状況や世界経済は、依然低迷し急激な円高やTPP問題など先行き不透明な生活環境にさらされている一方、昨年の未曾有の東日本大震災を始め集中豪雨による水害や活火山の噴火など自然災害が多発しております。

このような中、本市においては地域の支援を必要としている住民への声かけ・安否確認の活動やサロン活動など公的サービスや社会資源のすきまを補う地域住民主体のネットワーク活動を積極的に展

開いています。

ネットワーク活動を核とした災害時の支援体制の確立と災害は忘れた頃にやってくることなどから常日頃からの災害への備えなどみんなが支え合う地域づくりのためはその役割が今後ますます重要となつてまいります。

いざという時には、これら日頃からのネットワーク活動が緊急時支援の基盤となるかと思っています。

東日本大震災を契機に地域の支え合い、助け合いなど福祉の心や絆が確実に芽生えてきていると感じております。

辰年の竜というのは、強くて立派なものという意味合いが強く十二支の中で唯一実在しない架空上の生き物で神の使いとしてあがめられております。

一日も早い東日本の被災地復興とともに昇竜のように日本経済も活性化してほしいものです。

平成二十四年が皆様にとってしあわせで佳き年でありますよう祈念申し上げますとともにこれから市社会福祉協議会にご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。

平成23年度 志布志市金婚式

絆を

さらに深めて

平成23年度志布志市金婚式（主催：志布志市社協、共催：志布志市）が昨年11月22日の「いい夫婦の日」に志布志湾大黒リゾートホテルで盛大に開催されました。

今年の対象者は122組244名、内82組164名の出席がありました。

金婚者を代表して松山町から本村典夫・ミチ子ご夫妻、志布志町から木村辰美・ジュン子ご夫妻、有明町から福岡徹・ミツ子ご夫妻



見ている側も笑顔になれます(^_^)



元気いっぱい、長生きしてね！

が記念品を受け取られました。祝儀の舞では、藤寿会の方々が華麗な舞を、そして、あゆみ・おぞら・のがみ保育園の園児がお祝いの和太鼓演奏、歌等を披露し、出席者の方も一緒に踊るなど、とても喜ばれておりました。

次は、60年目のダイヤモンド婚式を迎えられますように、ご夫婦共にお元気で過ごされて下さい。誠にありがとうございます。

※町別内訳
(122組 244名)

松山町 25組 50名

志布志町 52組 104名

有明町 45組 90名

第6回 志布志市社会福祉大会を盛大に開催！ (平成23年12月3日(土) 志布志市文化会館にて)

福祉の功労者を表彰

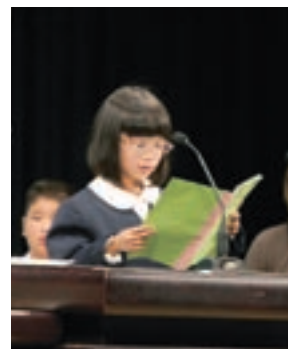
昨年12月3日(土)、志布志市文化会館にて「第6回志布志市社会福祉大会」が盛大に開催され、約500名の方々が参加されました。

俵踊り保存会の皆様による、「俵踊り」により幕を開けた大会では、はじめに、福祉に対し功労があった方々への表彰式が行われました。功績が顕著であった民生委員児童委員、地域の福祉向上に貢献された方、家庭において献身的に介護に尽くされている方、福祉作文・絵画コンクールの入賞者(以上、社協会長より表彰)、歯を健全に保ち80歳で20本以上達成している方、地域包括支援センターの愛称採用決定者(以上、志布志市長より表彰)へそれぞれ表彰状、記念品が授与されました。

その後、被表彰者を代表して有村勉さんが「日頃から私どもの活動にご協力頂いている方に感謝します。今後さらには、たゆまぬ努力をいたすことをお誓いいたします。」と謝辞を述べられました。



表彰を記念して写真撮影



元氣いっぱい作文を朗読された上田真慈さん(松山小学校 1年) (^O^)

元氣いっぱいの作文朗読！

表彰式のあとの作文朗読では、「第6回志布志市福祉作文コンクール」において、最優秀賞に選ばれた3作品の朗読が行われ、元氣いっぱいに作文を読む声に、来場者の皆様は聴き入っておりました。(各部門の最優秀賞者は下記をご覧ください。)

和田隆昌氏による大震災の講演

『大地震から家族を救う方法』東日本大震災・現地の取材をふまえて『』と題した和田隆昌氏による記念講演では、東日本大震災の被災地の写真を示しながら大地震発生後の大津波から我が身を守るためにとにかく逃げることの重要性について、また、大震災が西日本を襲うことを想定した講演をされました。志布志市も沿岸部に面しており、大津波に対する防災意識が今まで以上に必要となつてまいります。

大会を終えて…

今後、ますます、志布志市の福祉の輪が広がるよう、志布志市社会福祉協議会の事業、広報活動等を積極的に展開してまいります。引き続き、市民の皆様によるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※本大会にて表彰を受けられた方を紹介いたします。(敬称略)

(1) 志布志市社会福祉協議会会長表彰

- ① 民生委員児童委員として8年以上その職務に従事し、功績が顕著であつて、現に在職している者
 - ・ 野尻 トミ (有明町蓬原)
 - ・ 森元 早苗 (志布志町志布志)
- ② 社会福祉施設の長及び職員、並びにホームヘルパー・相談員として、12年以上その職務に従事し、功績が顕著であつて、現に在職している者
 - ・ 山下イチ子 (松山町尾野見)
 - ・ 隈元 純子 (松山町泰野)
 - ・ 和田 世子 (松山町泰野)
 - ・ 武安 孝志 (曾於市大隅町)
 - ・ 川畑 允子 (志布志町内之倉)
 - ・ 南 月美 (志布志町安楽)
 - ・ 平内 さとみ (志布志町帖)
 - ・ 倉橋 久幸 (志布志町志布志)
 - ・ 日高 智代 (大崎町菱田)
 - ・ 和佐 浩伸 (志布志町志布志)
 - ・ 松永 拓郎 (曾於市末吉町)
 - ・ 小迫 千里 (志布志町安楽)
 - ・ 河本 明子 (志布志町志布志)
 - ・ 深江 美紀 (志布志町志布志)
- ③ 5年以上にわたり、ねたきり高齢者・重度心身障がい者(児)等を献身的に介護している者
 - ・ 北原 ヒサ (松山町尾野見)
 - ・ 有村 勉 (有明町伊崎田)
 - ・ 菅田 三郎 (有明町伊崎田)
 - ・ 栗迫 ミツ (有明町伊崎田)
 - ・ 橋口 勝志 (有明町野井倉)

(2) 第6回志布志市福祉作文・絵画コンクール 最優秀賞

- 小学生低学年の部
上田 真慈 (松山小 1年)



【福祉絵画の部】最優秀賞

- 小学生高学年の部
八重 幸成 (有明小 5年)
- 中学生の部
若松 佳世 (志布志中 3年)
- 小学校の部
志布志中学校

学校賞

- 小学生低学年の部
新地 和真 (潤ヶ野小 1年)
- 小学生高学年の部
肝付 樹音 (志布志小 5年)
- 中学生の部
野崎 愛理 (伊崎田中 3年)
- 小学校の部
伊崎田小学校
- 中学校の部
松山中学校

(3) 志布志市8020運動表彰

- ・ 船場やす子 (志布志町帖)
- ・ 竹之内サチ子 (志布志町志布志)
- ・ 山角マリ子 (志布志町帖)
- ・ 小迫 節子 (志布志町帖)
- ・ 長野 アツ子 (志布志町安楽)
- ・ 松崎 泰子 (志布志町安楽)
- ・ 田中 麗子 (志布志町志布志)
- ・ 高木 保 (志布志町志布志)
- ・ 大垣 テル子 (志布志町志布志)
- ・ 吉元 美智 (志布志町志布志)
- ・ 谷宮 勝 (志布志町安楽)
- ・ 千崎 市雄 (志布志町田之浦)
- ・ 土森 信夫 (有明町伊崎田)
- ・ 川野 ミチ子 (松山町新橋)
- ・ 山元 成雄 (有明町野井倉)
- ・ 小濱 佐和子 (志布志町夏井)

(4) 志布志市地域包括支援センター愛称表彰

- 採用決定者
田原 梨絵 (志布志町安楽)



輪多市とは「多くのボランティアの輪と志布志市に広めましょう」の意味です。

ボランティア同士の 絆を大切に

志布志市内で活躍されているボランティアの交流を図るため、チャリティ・グラウンドゴルフ大会が行われました。これは、各町ボランティア代表者会で内容を話し合い、実現したものです。「大きくしたホールポストにホールインワンしたら、いくらでも募金をしていいことにしたら？」というアイデアから、その名も「わくわくホールどひこでん募金」箇所が設置され、皆さんの笑顔を誘っていました。天候にも恵まれ、初心者から熟練者まで、総計114名が秋晴れのもと、楽しみながら交流を深めることができました。東日本大震災義援金へ13,011円、和歌山県台風12号災害義援金へ13,010円を日本赤十字社を通じて頂きました。温かい志をありがとうございます。

■募金額

・東日本大震災義援金として

13,011円
和歌山県台風12号災害義援金として

合計 26,021円



歳末年越し事業

志布志地区

12月8日(木)、志布志町女性連絡協議会の協力員の方々と約60名程が参加されて、志布志町内にお住まいの80歳以上の独り暮らしの高齢者等約450名へちらし寿司を作り、地域の民生委員さんと協力して配りました。

高齢者の方々は、無事、年の瀬を迎えられる事と、温かいちらし寿司を受取られて喜ばれていました。



有明地区

有明町では、去る12月29日(木)・30日(金)の2日間かけて、ボランティアなかよしの皆さん・民生委員さんの協力を得て、年越しそば作りをし、町内に子供のいない70歳以上の独り暮らし高齢者228名の方にメッセージを添えてお届け致しました。

毎年、そばの実(川崎龍海氏)、薬味葱(樽口キクエ氏)、薬味ミカン(小宇都ユキエ氏)、燃料プロパンガス(藤田プロパン 藤田勉氏)の提供により、心のこもったそばが出来上がりました。

松山地区

松山町では12月27日(火)に小学生・中学生・地元のボランティア・民生委員など約50人の方々が参加し、70歳以上の一人暮らし高齢者等へそば200食分をつくりました。すばらしいチームワークで、今年も美味しい年越しそばが出来ました。



たくさんの方々の方々の御厚意と協力に感謝致したいと思います。有難うございます。

ちよっと一息。のコーナー まよへいせ

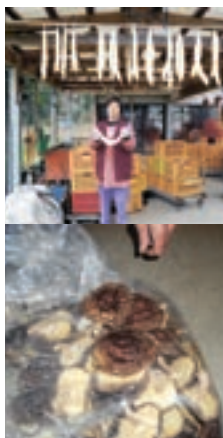
このコーナーでは、生活に役立つ様々な情報を取り上げていきます。知りたい情報、質問等ありましたら、社協各支所までお問い合わせ下さい。

今回の特集 『干し大根』

今回は、干し大根についてご紹介いたします。

志布志町八野地区は、作物にとつて最適な畑が広がっています。

早速、取材交渉すると「ごんに、聞いてよかか、たんねんみよつ」と洒落た返し。「この大根は大体、十日もすれば、漬物にして食べれるようになるよ。タイミングが大切。」出まがりを試食、いつも食べてるものとは違ってすくうまい。ごはんが欲しくなったが、さすがに我慢した。すると、居合わせた徳重さんが「ナバ(しいたけ)を見いけいっか?」とありがたいう言葉。広い敷地に椎茸の原木がずらり。今度、潤ヶ野小学校で原木への菌打ち体験を実施された。まさに食育だ。前向きな地域に疑問符をもつと、「あたいまえよ」と反論されるのは当然である。勉強になった。



(取材協力者: 池村さんご夫妻、徳重さん...お忙しいところありがとうございました。)

シリーズ
ようこそサロンへ！

このシリーズでは、志布志市内の「ふれあい・いきいきサロン」を市民編集員・有馬ケイ子さんの取材の元、紹介いたします。

◎今回は、今まで訪問させていただいたサロンの中で、心に残っていることや伝えきれなかったことを、「サロンこぼれ話」として紹介したいと思います。

以前、合同で行なわれた弓里・天神サロンの志布志歴史地区史跡巡りを紹介したいと思います。

志布志に長い間住んでいてもどのような史跡がどこにあるかなど、知る機会がなかった人も、史跡巡りを楽しみにされていました。担当者からの説明にうなづき、メモを片手に足取りも軽やかに、少しだけタイムスリップした時間を楽しんでいる姿も嬉しげでした。日頃は自分の生活圏内でのサロンを出て、時には場所を変えて他のサロンと交流があると、人の輪が広がる機会にもなると思いました。



住み慣れた町にも
あたらしい発見がありました！



※お詫び
第35号に掲載しました弓場ヶ尾サロンの紹介写真が誤っていましたので、左のとおり正しい写真を載せ訂正してお詫び申し上げます。

多くのサロンがボランティアの協力をもらいながら、月1回開催をしています。サロンへの誘いや、参加者同士で連絡を取り合って参加するサロンなど、地域特性が出ていくところもありました。地域での交流を広げる取り組みをされており、参加者も多様な刺激を受けていることを感じるサロンもありました。日常生活でも、学んだことを取り入れて大きく身体を動かし、頭脳の刺激も忘れずに過ごしたいですね。



担当者の説明にみなさん
興味深々に聞いてました。

サロン運営ボランティア研修

現在サロン活動をされているボランティアの更なる資質向上を目的に、各町で研修に行きました。志布志町は11月9日（水）に肝付町へ行き、肝付町のサロンボランティアの皆さんと有意義な意見交換をすることができました。今後のサロン運営での良い刺激になったことと思います。



有明町では、11月11日（金）に、南大隅町にてサロン研修を行ないました。

初めに、南大隅町社会福祉協議会で、サロンの現状説明を受け、サロン見学では「やすらぎ会」に参加し、ゲームや紙芝居など交流を行いました。



なお、松山町は次号掲載します。

お知らせ

志布志市ボランティアセンターでは、サロンに興味をお持ちの方でボランティアができる方を募集しています。

お近くのサロンへ寄ってみませんか？ご紹介いたしますので、詳しくは左記へお問い合わせ下さい。



ご連絡待ってま～す。(^^)。
平和サロンのボランティアの方々。

～問い合わせ先～
志布志市社会福祉協議会
(ボランティアセンター)

志布志本所 ☎(472)1800
有明支所 ☎(474)0310
松山支所 ☎(487)2001

地域福祉推進事業

私達の住むまち（地域）の良いところや困っているところを知り、笑顔で住みよい地域にしていこうため、市内の3地区をモデル地区として指定し、地域福祉推進事業を行なっています。
今回は2地区の事業を紹介します。

泰野小学校で認知症パネルシアター！

松山町泰野地区

12月12日（月）、松山町の泰野小学校で3・4・6年生を対象に、「バリアフリー体験」が開催されました。車イスやアイマスク、妊婦・高齢者体験を実際に装具を着用し、体感しました。中でも、認知症に関心が高まる今日、認知症に対する正しい理解を地域の皆で深めていく必要性があることから、子ども達へも認知症を知っていただくために、今回、「認知症パネルシアター」を体験メニューに追加しました。

川上みゆきさんによるパネルシアターでは、夕飯を食べたばかりのおばあちゃんの「夕飯はまだかい？」のセリフに児童は声を出して驚いていました。認知症の方を地域で見守ることができるよう、今後もこのような取り組みを継続していきます。



パネルシアターを披露される川上みゆきさん

正しい理解の基、認知症の方を地域で見守ることが住みよいまちづくりにつながります。

そばづくりで地域づくり

志布志町帖五区地区

12月18日（日）、地区社協と福祉女性部が協働して、食育をテーマにした「そばづくり」を実施し、種まき・刈り取り・脱穀・そば打ちの一連をすべて地区民の手で行ってきました。

先日の冬のふれあい会で、そば打ちを体験し、幼児から中学生・親・地区民が多数集まり、地域のそば打ち名人から十割そばの手ほどきを受け、みんなで試食し終始なごやかな昼食会となりました。

このそばづくりは、子ども達への食を育み、地域とのつながりを大切にし、今後若い世代とタッグを組んで地区を盛り上げていく良い機会づくりとなりました。今後、福祉女性部では、高齢者への身近な環境についても考えており、具体的な話し合いを設けていく予定です。



美味しくいただきました！！



そば作りに一生懸命！

平成23年度 障がい者戸外ふれあいの一日

暖かな陽気に恵まれた11月25日（金）に一人で外出が難しい重度の視覚・下肢障がいを持つ方々と、その付き添いの方やボランティアさん方、14名が参加して、最近オープンした志布志湾大黒イルカランドに行ってきました。

イルカランドは、車椅子でも見学できるようにバリアフリーになっており障がいをお持ちの方にも利用しやすい施設でした。海を間近に迫り満点のイルカショーやペンギンショーなど様々な催し物を見学され海のテーマパークを満喫されていました。



みんなで記念撮影！



志布志のまちを一望しました！

また、隣接されている新鮮館では、店内をゆっくり散策されショッピングを楽しみました。海を背景にした場所での昼食は会話も弾み賑やかなひと時を過ごされました。

帰りに、白砂青松の志布志湾、更に志布志の町や大隅半島一帯を眺望できる景勝地である国際の森に立ち寄り良き思い出になったようでした。『また来年も是非、参加したいから連絡下さい。』『今日は、身近な所で有意義な一日を過ごさせていただきましたありがとうございます。』『ささえあい』など口を揃えて笑顔で来年の再会を誓い帰路につきました。

歳末たすけあい運動

チャリティゲートボール 大会が行なわれました！

12月10日(土)、志布志市役所前多目的広場で、市ゲートボール協会の主催により「歳末たすけあい運動」チャリティゲートボール大会が行なわれました。

全13チーム、66名の参加があり、白熱した勝負が行なわれたAリーグと笑いを交え勝負にこだわらないBリーグに分かれ、プレーをしました。

皆様からお寄せ頂いた善意は共同募金志布志市支会へ募金させて頂きました。厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。

■募金額

- ・赤い羽根共同募金として 20,000円
- ・東日本大震災義援金として 6,000円

合計 26,000円



みんなが笑顔になる為に… わたしたちのサロン

自由に、楽しく、 子育てサロン

子育てサロンって？

子育ての不安や悩みを抱えながら、誰に打ち明けていいのかわからない……。

でも、同じ立場で悩みや不安を抱えている者同士だったら気軽に話し合えるのではないかな。そんな、親子の集いの場を提供する「子育てサロン」を開催しました。

今回は、「子育てサロン…ど

んぐりの会」と合同開催し、親子のふれあいの場を提供しました。

親子みんなで3B体操を楽しんだ後、笑顔いっぱいにクリスマスプレゼントをもらい、終始和気あいあいとしたサロンになりました。

今後このような子育てサロンを増やしていきたいと思っています。

地域を、親子の笑顔でいっぱいにしたいから……



誰でも、

気軽に、参加♪

介護者の寄り合いどころが できました！

介護者同士がともに集い、介護方法の悩み、要介護者と関わっていく中での、心の葛藤などを打ち明けあい、経験や情報を共感・共有する場です。

介護をしている人にしか分からない事ってありますよね？

介護を行なっている方、誰でも、気軽に、参加できる場所を目指して、これからも活動を続けていきます。

次回開催は、3月を予定しています。お茶でも飲みながら、まったり語りましょう。

参加希望者の方は、志布志市社会福祉協議会へ事前にお電話にて参加する旨、伝えて頂ければ、お茶の準備を致します♪



皆様の善意に 感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお
礼にかえて市社会福祉協議会
にご寄附を頂きました。
ここに謹んでお悔やみ申し
上げ故人のご冥福をお祈り申
し上げます。頂きましたご寄
附は、志布志市の地域福祉向
上のために有意義に活用させ
ていただきます。

(平成23年11月1日から
平成23年12月31日まで)

自治会名 寄附者名

志布志地区

(物故者名
(敬称略))

森山	結城 悟	故ハルカ
六月坂	濱田昭一郎	故一子
福島渡り	下出敬太郎	故博
香月	西元浩己	故ミチ子
上宮内	外岩昌次	故ツタ
南大原	領家ツルエ	故豊二
六月坂	川野愛吉	故富子
若宮	山村又男	故やう子
大原	北園佳彦	故やエ
北大原	又木サエ子	故哲也
松波住宅	溝口順太郎	故アヤ子
曲瀬	中曲瀬利文	故フミ子
夏井	伊知地ミッル	故繁雄
下東谷	村岡喜美子	故迫 林
実豊吉	岩本タエ	故末田ミツ子
天神	下田敦子	故スミエ
大迫	高吉影昭	故影光

有明地区

山重	崎田ミエ	故一義
鹿兒島市	井出俊郎	故寅吉

松山地区

馬場	坂口廣二	故ミツ子
春日	安水 忍	故タツエ
普現堂	堂添麗子	故司
水ノ谷	水口秀実	故ハツエ
宮塩	宮谷芳男	故トキエ
片平	宮路瑞子	故洋一
東原中	垣内道治	故セツ
黒葛	田浦康浩	故チル
通山	松下一男	故ミサ
蓬原中野	新屋ツヤ子	故春美
曲川路	和佐福吉	故恵美子
	留岡正明	故一雄

物品寄附

次の事業所・団体・個人の
方々より市社会福祉協議会に
ご寄附を頂きました。
地域福祉向上のために有意
義に活用させていただきます。
ありがとうございます。

志布志地区

(敬称略)

・鳥井下	野崎安治
・マッサージ機	

松山地区

・匿名 タオル多数

東日本大震災義援金

(11月12日～1月18日受付分)
合計金額…45万1,495円

志布志地区受付

- ・志布志市Vo.の集い、クラウドゴルフ大会
- ・ヘアーサロン ケンジ
- ・若潮酒造株式会社(新酒祭り)
- ・第6回志布志市社会福祉大会義援金箱
- ・志布志市商工会女性部
- ・鹿児島ジャズストリートin大隅
- ・前川清流会
- ・歳末たすけあいチャリティGB
- ・志布志市立出水中学校文化祭 2年2組収益金
- ・志布志市立出水中学校文化祭 生徒会収益金
- ・サンポートしぶしアピア
- ・匿名
- ・健康ふれあいプラザ義援金箱

有明地区受付

- ・福岡國博
- ・そお地区障がい者相談支援センター
- ・三十七庵
- ・有明小学校5年生
- ・株式会社蓬の郷
- ・匿名

松山地区受付

- ・市老人福祉センター義援金箱
- ・やっちく秋の陣まつり義援金箱
- ・やっちく松山藩
- ・匿名(1名)

(3月14日～1月18日受付分)

これまでの合計金額…
1086万3,564円

※お詫び

第35号「香典返し寄附金」につい
て、志布志地区受付の『中之内
石神吉成 故洋子』と掲載をし
ましたが、有明地区で既に受付を
しており、二重掲載及び、自治会
名を誤っておりしました。
正しくは、有明地区受付の、『中
山之口 石神吉成 故洋子』です。
訂正をしてお詫び申し上げます。

『ふくし川柳・ 短歌・俳句』 募集します。

志布志市社会福祉協議
会では、福祉川柳・短
歌・俳句を通じて、今以
上に幅広い年齢層の市民
に福祉を身近に感じても
らい、広く福祉に興味を
持つて頂きたく、募集い
たします。
つきましては、左記の募
集要項にてご応募下さい。
また、投稿総数に応じて掲
載させていただきます。

○応募方法

- ・氏名又はペンネーム、
町名を記入
- ・一人二作品まで
- ・ハガキ、郵送、FAX、
Eメール
- ※電話による応募は致
しません。

○応募締切

平成24年2月19日(日)まで
○掲載について
・平成24年3月26日発行
「ふくし川柳」第37号に
掲載予定

**志布志市
社会福祉協議会**
(志布志市健康ふれあいプラザ内)
〒899-7103
志布志町志布志 3222-1
TEL: 472-1800
FAX: 472-1593
E-mail: info@shibushi-syakyo.jp

心配ごとがありましたら…

～金銭、年金、家族、住宅、ご近所トラブルなど～

2月・3月の日程

相談内容等の秘密は厳守します。ぜひ、
お越し下さい。なお、相談料は頂きません。

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4				1	2	3	
5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17
19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24
26	27	28	29				25	26	27	28	29	30	31

※日程は変更になる場合があります。右記までお気軽にお問合せ下さい。

- : 志布志地区 472-1800
(健康ふれあいプラザ内)
- : 松山地区 487-2001
(老人福祉センター内)
- : 有明地区 474-0310
(市民センター内)

相談時間
10:00～15:00